【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】令和6年12月23日(2024.12.23)

【国際公開番号】WO2023/002976
【出願番号】特願2023-536754(P2023-536754)
【国際特許分類】
Ｅ０６Ｂ　3/663(2006.01)
Ｅ０６Ｂ　3/677(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０６Ｂ　3/663　　Ａ
Ｅ０６Ｂ　3/677
Ｅ０６Ｂ　3/663　　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】令和6年12月13日(2024.12.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
互いに対向する第１ガラス基板と第２ガラス基板との間に介在し、前記第１ガラス基板および前記第２ガラス基板と接触して配置されるスペーサーであって、
前記第１ガラス基板と接触して配置される第１接触面と、
前記第２ガラス基板と接触して配置される第２接触面と、
前記第１接触面と前記第２接触面との間に位置する側面と、
を備え、
前記第１接触面の粗さ曲線における２乗平均平方根傾斜の平均値ＲΔｑ１は、前記側面の粗さ曲線における２乗平均平方根傾斜の平均値ＲΔｑ２よりも小さい、
スペーサー。
【請求項２】
前記第１接触面の粗さ曲線におけるクルトシスの平均値Ｒｓｋ１は、前記側面の粗さ曲線におけるクルトシスの平均値Ｒｓｋ２よりも小さい、請求項１に記載のスペーサー。
【請求項３】
前記側面は焼成面である、請求項１に記載のスペーサー。
【請求項４】
前記平均値ＲΔｑ１と前記平均値ＲΔｑ２との差が、０．０５以上である、請求項１に記載のスペーサー。
【請求項５】
前記平均値ＲΔｑ２は０．７以下である、請求項１に記載のスペーサー。
【請求項６】
板状または柱状の中央部と、前記中央部から突出する第１端部と、前記第１端部と反対側に位置するとともに前記中央部から突出する第２端部と、をさらに備え、
前記側面は前記中央部の外縁に位置し、
前記第１接触面は前記第１端部に位置し、
前記第２接触面は前記第２端部に位置し、
前記第１端部の高さ方向に垂直な幅は、前記中央部の高さ方向に垂直な幅よりも小さい、請求項１に記載のスペーサー。

【請求項７】
前記第１端部は球冠状である、請求項６に記載のスペーサー。
【請求項８】
前記中央部の高さは、前記第１端部の高さと前記第２端部の高さとの合計よりも大きい、請求項６に記載のスペーサー。
【請求項９】
前記第１端部における気孔の面積占有率は、前記中央部の外縁の気孔の面積占有率よりも大きい、請求項６に記載のスペーサー。
【請求項１０】
酸化ジルコニウム、ムライト、フォルステライト、コージェライト、ステアタイト、アルカリ金属アルミノケイ酸塩、チタン酸アルミニウムまたは酸化亜鉛を主成分とするセラミック焼結体からなる、請求項１に記載のスペーサー。
【請求項１１】
酸化アルミニウムおよび酸化ジルコニウムの複合化合物を含むセラミック焼結体からなる、請求項１に記載のスペーサー。
【請求項１２】
前記第１ガラス基板と、
前記第２ガラス基板と、
前記第１ガラス基板と前記第２ガラス基板との間に位置する内部空間と、
前記第１ガラス基板の周縁部と、
前記周縁部をシールするシール部と、
前記請求項１から１１のいずれか１項に記載のスペーサーと、
を備える、複層ガラス。
【請求項１３】
前記内部空間を排気するための排気口を備える、請求項１２に記載の複層ガラス。